

再評価を実施した事業

1. 直轄事業（沖縄総合事務局）

(治水) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
1	沖縄北西部河川総合開発事業 <small>タイホ オクマ ヒジ</small> (大保ダム、奥間ダム、比地ダム) <small>オオギミソン クニガミソン</small> (大宜味村、国頭村)	平成2年度 1,555億円	大保川水系に大保ダム、比地川水系に奥間ダム、比地ダムを建設し、各水系の洪水調節と沖縄本島の水道用水の供給を図る事業。	以下のとおり、事業の見直しを行う。 (1)奥間ダムについては、河川管理者である沖縄県から利水撤退等の理由により、建設中止の要請があったことから、中止する。 (2)比地ダムについては、沖縄県より沖縄振興特別措置法第107条に基づく申請がなされる予定がないことから、着手しないこととする。 (3)大保ダムの平成22年度中の完成をもって、沖縄北西部河川総合開発事業を完了とする。	利水事業としては、既に、平成22年4月1日付で内閣府が公表した再評価結果で、見直しは妥当とされている。 また、比地川水系の治水対策については、河川管理者である沖縄県が河川改修等の治水対策を再検討するとしていることから、大保ダムの完成をもって本事業を完了とする見直しは妥当である。

(道路) 8件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
2	一般国道58号 読谷道路 読谷村	平成13年度 620億円	読谷道路は、沖縄西海岸道路の一翼を担い、本島北部と中南部を結ぶ主要幹線道路となり、読谷村、嘉手納町の国道58号の交通混雑の緩和はもとより、地域の産業、観光及び地域振興プロジェクトを支援する道路事業である。	全線2車線暫定供用に向けて、事業進捗を図る。	読谷道路は、沖縄西海岸道路の一翼を担い、本島北部と中南部を結ぶ主要幹線道路となり、読谷村、嘉手納町の国道58号の交通混雑の緩和はもとより、地域の産業、観光及び地域振興プロジェクトを支援する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
3	一般国道58号 那覇西道路 那覇市	平成13年度 1,677億円	那覇西道路は、沖縄西海岸道路の一翼を担い、本島北部と中南部を結ぶ主要幹線道路となり、那覇市街部及び周辺部の交通混雑の緩和、那覇港、那覇空港へのアクセス向上を目的とする道路事業である。	平成23年の全線暫定4車線供用に向け事業進捗を図る。	那覇西道路は、沖縄西海岸道路の一翼を担い、本島北部と中南部を結ぶ主要幹線道路となり、那覇市街部及び周辺部の交通混雑の緩和、那覇港、那覇空港へのアクセス向上を目的とする事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
4	一般国道329号 金武バイパス 金武町	平成3年度 152億円	金武バイパスは、交通安全の確保、朝夕の交通混雑の解消、地域交流の促進、幹線道路としての機能向上に大きく寄与する道路事業である。	早期の全線供用に向けて、事業進捗を図る。	金武バイパスは、交通安全の確保、朝夕の交通混雑の解消、地域交流の促進、幹線道路としての機能向上に大きく寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
5	一般国道331号 豊見城道路 豊見城市	平成元年度 405億円	豊見城道路は、沖縄西海岸道路の一部を形成し、国道331号の渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上に資するとともに、那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された2環状7放射道路の一部として、県南部地域の活性化や物流効率化、さらには観光交流の支援を目的とした道路事業である。	平成27年度の完成4車線供用に向け事業進捗を図る。	豊見城道路は、沖縄西海岸道路の一部を形成し、国道331号の渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上に資するとともに、那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された2環状7放射道路の一部として、県南部地域の活性化や物流効率化、さらには観光交流の支援を目的とした事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
6	一般国道331号 糸満道路 糸満市	平成2年度 505億円	糸満道路は、沖縄西海岸道路の一部を形成し、国道331号の渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上に資するとともに、那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された2環状7放射道路の一部として、県南部地域の活性化や物流効率化、さらには観光交流の支援を目的とした道路事業である。	平成23年度の全線暫定供用に向け事業進捗を図る。	糸満道路は、沖縄西海岸道路の一部を形成し、国道331号の渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上に資するとともに、那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された2環状7放射道路の一部として、県南部地域の活性化や物流効率化、さらには観光交流の支援を目的とした事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

7	トミグスクヒガシ 一般国道506号 豊見城東道路 (トミグスク 豊見城市)	平成3年度 1,230億円	豊見城東道路は、那覇空港自動車道の一部を形成し、那覇空港へのアクセス向上に資するとともに、那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された2環状7放射道路の一部として、地域の産業、観光及び地域振興プロジェクト支援を目的とした道路事業である。	全線完成4車線の早期供用に向け事業進捗を図る。	豊見城東道路は、那覇空港自動車道の一部を形成し、那覇空港へのアクセス向上に資するとともに、那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された、2環状7放射道路として、地域の産業、観光及び地域振興プロジェクト支援を目的とした事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
8	ナカヤマ 一般国道331号 中山改良 (ナンジョウ 南城市)	平成2年度 82億円	中山改良事業は、一般国道331号の防災対策及び線形改良を行い、産業・観光の発展及び交通安全の確保等を目的とした道路事業である。	早期の全線供用に向け事業進捗を図る。	中山改良事業は、一般国道331号の防災対策及び線形改良を行い、産業・観光の発展及び交通安全の確保等を目的とした事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。
9	キノザ 一般国道329号 宜野座改良 (キノザ 宜野座村)	平成2年度 66億円	宜野座改良は交通安全の確保、地域交流の促進、幹線道路としての機能向上に大きく寄与する道路事業である。	早期の全線供用に向け事業進捗を図る。	宜野座改良は交通安全の確保、地域交流の促進、幹線道路としての機能向上に大きく寄与する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

(港湾) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
10	那覇港浦添ふ頭地区臨港道路整備事業 <small>ナハ コウウランソエ トウチク リンコウドコロ セイビ ジギョウ</small>	平成17年度 210億円	沖縄県の拠点港である那覇港から本島中北部方面への物流機能を強化し、圏域の経済及び産業活動を支援するため臨港道路の整備を図る。	陸上部の埋立は概成しており、平成22年度からは橋梁部に着工した。今後は鋭意施工を進め平成20年代後半の事業完了を図る。	那覇空港から那覇ふ頭地区、浦添ふ頭地区を通る臨港道路は、那覇港の物流機能強化等の面から大きな効果をもたらすことから、それら臨港道路整備の一環として本事業を継続することは、沖縄振興計画の着実な推進を図る観点から適当である。

(水道) 3件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
11	<small>キノワンシ</small> 宜野湾市水道施設整備事業 <small>キノワンシ</small> (宜野湾市) <small>キノワンシ</small> <small>ジギョウ</small> 【宜野湾市事業】	平成8年度 23億円	水道水の安定供給を図るため、老朽管の更新や区画 整理事業等に伴い増加する水需要に対応する配水池 及び配水管等を整備する事業。	瑞慶覧基地跡地等の配水管の整備 を促進し、平成23年度の事業完了を 図る。	水道水の安定供給を図るため、地域の水需 要の増加に対応した管路等の整備を行う事 業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図 るために必要な事業である。
12	<small>ナカグスクン</small> 中城村水道施設整備事業 <small>ナカグスクン</small> (中城村) <small>ナカグスクン</small> <small>ジギョウ</small> 【中城村事業】	平成13年度 21億円	水道水の安定供給を図るため、老朽管の更新や区画 整理事業等に伴い増加する水需要に対応する配水池 及び配水管等を整備する事業。	南上原地区等の配水管の整備を促 進し、平成27年度の事業完了を図 る。	水道水の安定供給を図るため、地域の水需 要の増加に対応した管路等の整備や老朽 施設の更新等を行う事業であり、沖縄振興 計画の着実な推進を図るために必要な事業 である。
13	<small>オキナワシ</small> 沖縄市水道施設整備事業 <small>オキナワシ</small> (沖縄市) <small>オキナワシ</small> <small>ジギョウ</small> 【沖縄市事業】	平成12年度 41億円	水道水の安定供給を図るため、老朽管の更新や埋め 立て事業等に伴い増加する水需要に対応する配水池 及び配水管等を整備する事業。	美里地区等の配水管の整備を促進 し、平成27年度の事業完了を図る。	水道水の安定供給を図るため、地域の水需 要の増加に対応した管路等の整備を行う事 業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図 るために必要な事業である。

再評価を実施した事業

2. 補助事業（沖縄県）

(道路事業) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
14	ナンブヒガン 南部東道路(南風原知念線道路改築事業) ハエバル (南風原町 ~ 南城市)	平成18年度 182億円	南部東道路は、那覇空港や高度医療機関までの時間短縮を図るとともに、定時・定速を確保し、那覇市までの30分圏の確立を図り、通勤通学や経済活動の利便性の向上、地域住民に都市的サービスを提供する道路事業である。	環境影響評価の手続きを円滑に進め、事業進捗を図る。	南部東道路は、那覇空港や高度医療機関までの時間短縮を図るとともに、定時・定速を確保し、那覇市までの30分圏の確立を図り、通勤通学や経済活動の利便性の向上、地域住民に都市的サービスを提供する事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。

(港湾事業) 2件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
15	モトブ コウ モトブ テク 本部港(本部地区)港湾改修事業	平成8年度 76億円	北部地域の活性化を図るため、本部港において物流機能強化や交流機会の促進に資する岸壁(-9m)等の整備を行う。また、岸壁の耐震強化を図ることで大規模地震発生時における物流機能を維持し、北部地域住民の安全・安心な生活を確保する。	順次整備を進めており、平成18年度からは岸壁(-9.0m)に着手した。防波堤(南)の延伸も完了し、小型船だまりの安全性は向上した。平成20年代半ばの事業完了を図る。	沖縄本島北部地域の拠点港である本部港において、物流機能の向上等に資する大型かつ耐震性のある岸壁等を整備することにより、地域の活性化を図る事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るため、本事業を継続することは適当である。
16	イニ 伊江港港湾改修事業	平成8年度 32億円	地域産業の競争力向上や大規模地震発生時における物流機能の維持を図るため、耐震強化岸壁を整備する。また、港内の静穏度と安全性の向上を図るための防波堤整備等を行う。	耐震岸壁(-7.5m)が平成15年度までに完成し、現在、防波堤の改良及び泊地の浚渫を実施中であり、平成20年代前半の事業完了を図る。	沖縄本島北部近海の伊江島における物流・人流の要である伊江港において、地域産業の競争力向上等に資する岸壁等を整備することにより地域の活性化を図る事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るため、本事業を継続することは適当である。

(水産基盤整備事業) 1件

17	イシガキテク 石垣地区広域漁港整備事業	平成13年度 25億円	外郭、係留施設及び臨港道路等の整備により、漁船が安全に係留できる漁港づくりを目指すとともに、漁港機能の向上を図ることで安全安心な漁業活動を確保し、水産物の安定供給に資する。	老朽化した船揚場の代替施設も7割方完成し、漁船も半数以上が移動を終えている状況。今後、残りの船揚場を施行し、平成23年度に事業完了の予定。	沖縄の水産物の流通拠点となっている石垣漁港において、水産物の生産基盤を整備することにより、亜熱帯性気候等の地域特性を生かした農林水産業の振興を図る事業であり、沖縄振興計画の着実な推進を図るため、本事業を継続することは適当である。
----	------------------------	----------------	--	---	--